

(投稿様式1)

「水土里の風景」

題名	日本で唯一の柴堰
施設名	川原園井堰
撮影場所	鹿児島県 鹿屋市 串良町
水土里レポーター名	串良町土地改良区 事務局長 新町 浩

(写真)



(コメント)

鹿屋市串良町の川原園井堰(柴堰)は、シラス台地の谷間に沿って流れる一級河川串良川にある。里山から切り出したマテバシイ(どんぐりの木)の木枝を束ねた柴束を150束つくり、川幅43メートルの基石に横木を渡し、柴束を一つ一つ並べ川を堰止める柴堰作りの作業は、毎年3月中旬に行われている。

柴掛け作業を終えると、川の水位がどんどん上昇し、用水路へと流れ3月下旬から4月初旬にかけて早期水稻の田植え作業が始まり、水田を潤していく。この柴堰の用水の恩恵を受ける水田面積は約300haである。